

プラム・プルーン特報 No.5

令和7年5月1日

J A中野市園芸課

J A中野市プラム部会

◎スモモヒメシンクイ 最重点防除期間（5月中旬～6月上旬）

シンクイ越冬世代の密度を減らすため、防除を徹底して下さい。

越冬世代の産卵条件として、日没時に園内の気温が18℃～20℃以上になると産卵するので、5月上旬から園地の温度を確認し、産卵条件に達した場合は第5回を前倒しで散布する。

生育は、平岡地区の太陽満開が4/19と平年より4日遅れて経過しています。

スモモヒメシンクイの発生園は、5月上旬にナシヒメコン(10a 当り100本)を設置する。尚、太陽（含む）以降の品種では7月上旬に再度設置する。ご不明な点は担当までお問い合わせください。

1. プラム【第5回 定期防除】対象病虫害：黒斑病、かいよう病、シンクイムシ類

散布時期	・ 5月15日～5月24日（第4回定期散布から10日後）		
散布薬剤	水 100ℓ当り		【定期散布】散布日 ____月 ____日（ ____ ） 散布量 ____ ℓ
	展着剤（ハイテンパワー）	10mℓ	
	劇イカズチWDG	66g（前日、2回）	
	アグレプト水和剤	100g（30日前、2回）	
散布量	10aあたり 400ℓ		
注意事項	①アグレプト水和剤は、ぶどう（ <u>ワインぶどう含む</u> ）にかかると種無し果を生じるので、隣接園にかからないよう散布する。 ②【カイガラムシ対策】アプロードフロアブル1000倍（14日前、2回）を加用する。		

2. 予備摘果について

品種では、秋姫⇒大石早生⇒菅野中生⇒貴陽⇒太陽などの順に5月中旬頃から（結実状況を確認の上）

- ・ 予備摘果→仕上げ摘果→見直し摘果・園内が暗くなりやすいので新梢の整理を行なって下さい。
- ・ ふくろみ病の果実は翌年への越冬菌増加に繋がりますので、園外へ除去して下さい。

次面もご覧ください

予備摘果（基礎資料）

時 期	摘果の程度	備 考
満開～30日頃 (果実の細胞数の増加期)	大石早生、静香……最終着果量の2～3割増 太陽、貴陽 …… ” 3～4割増	生理落果 少 ” やや多

	残す果実	落とす果実
方 法	①品質本来の形、正常果 ②果実が大きく縦長なもの ③果梗が太く、緑色の濃いもの ④着果位置が横向きか下向きのもの	①変形果、傷果、病虫害果 ②着果位置が上向きなもの (日焼け、傷果が発生する)

3. プルーン

【第3回 定期防除】 対象病虫害：黒斑病（かいよう病）ハダニ類、シンクイムシ類

散布時期	・5月15日～5月24日 （落花後の散布から14日後）	
散布薬剤	水 100ℓ当り 展着剤（ハイテンパワー） 10mℓ アーデントフロアブル 50mℓ（前日、3回） アグレプト水和剤 100g（30日前、2回）	【定期散布】散布日 ____ 月 ____ 日（ ） 散布量 ____ ℓ
散布量	10aあたり 400ℓ	
注意事項	①アグレプト水和剤は、ぶどう（ <u>ワインぶどう含む</u> ）にかかると種無し果を生じるので、隣接園にかからないよう散布する。 ②【カイガラムシ対策】アプロードフロアブル1000倍（14日前、2回）を加用する。	

- ① 毛バタキに残った花粉やホコリ等を十分に掃除する。
 - ・コンプレッサーがあれば、エアーの力で残った花粉やホコリ等を掃除する
 - ・中性洗剤、ぬるま湯で軽くもみ洗いし、よく濯ぐ。
- ② 直射日光を避け、「日陰干し」を行ない、十分乾燥させる。
 - ・直射日光に当てると繊毛（センモウ）がくっ付いてしまいます。
- ③ 密封が可能な袋や箱に毛バタキを入れ、市販の防虫剤を入れてから密封し、湿気のない場所で保管する。（高温多湿を避ける）

次回特報発行予定日：5月中旬

問合先：園芸課・担当 横田（080-5147-8257）